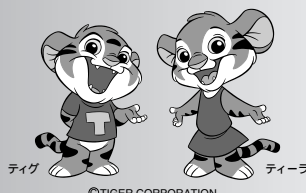
品番
ASO-A型

ion®

タイガー ハイブリッド式 マイコン加湿器

取扱説明書 保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

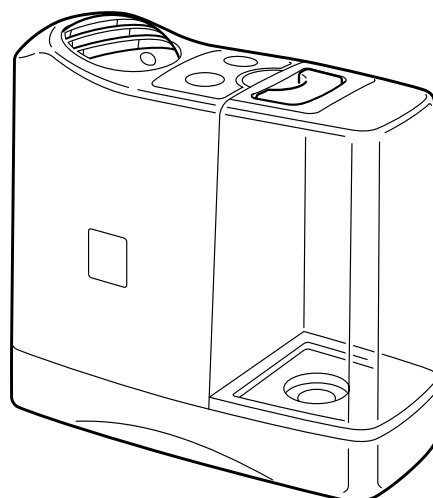
マイナスイオンでお部屋をリフレッシュ
森林や高原など自然界に豊富なマイナスイオン。運転中は、このマイナスイオンを電気方式で大量に発生させ、プラスイオンを中和します。
P.7・9

加熱と気化加湿を組み合わせた
ハイブリッド式マイコンタイプ
P.7

加湿の吹出し方向が変更できる
吹出しカバー
P.8

マイコン制御で、お部屋の湿度に合わせて
自動運転
「強」「弱」「自動」運転が選べます。
P.9

おやすみ時にも便利な**3時間切タイマー**
P.9

お手入れに便利でいつも清潔
丸洗いOKの**着脱できる水受け皿**
P.10・11

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL（　）

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意

「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やゴミを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないよう注意すること。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると水がこぼれたり、けがのおそれがあるので充分注意すること。

⚠警告

運転停止直後は、ヒーターケース周辺に手をふれない。
やけどやけがの原因。

吸気口や吹出口・送風ファン・すき間などに、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。
感電や異常動作してけがをするおそれ。

不安定な置き場所には置かない。
転倒すると水がこぼれる原因。
また安全装置の誤作動の原因。毛あしの長いカーペットなどの上には置かないようにすること。

お手入れするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。
感電やけがをするおそれ。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

使用中や使用直後は持ち運ばない。
水がこぼれるおそれ。

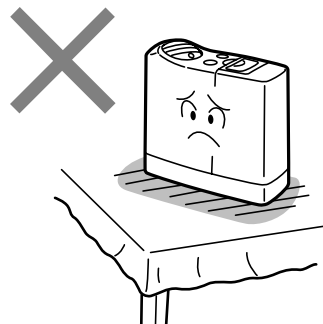
差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

使用中や使用直後はお手入れをしない。
高温部にふれ、やけどの原因。

1 安全上のご注意

お願い

●熱に弱いものの上では使用しない。

テーブルなどが変色・
変形するおそれ。

●水タンクおよび水槽に水道水以外の水を入れない。

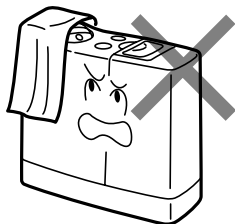
使えない水

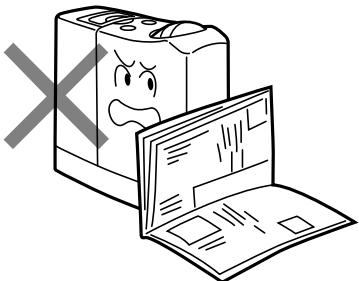
・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水など
水道水（飲料用）は、抗菌処理がされており、その他の水は抗菌作用がないため、カビや雑菌が発生しやすい原因。
・温水（40℃以上）、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水など
本体が変形し故障の原因。

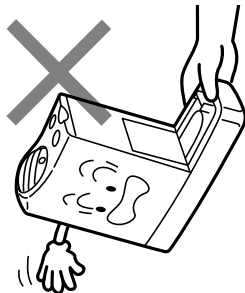
●この製品専用の電源コードを使用する。

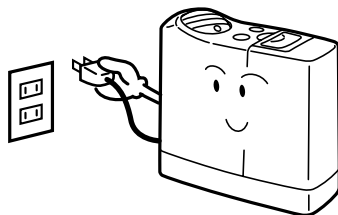
他に転用したり、類似のものを使用しない。
故障・発火のおそれ。

●吹出口をフキンなどでふさがない。

故障の原因。

●吸気口や吹出口、ヒーターケースをふさいで使用しない。

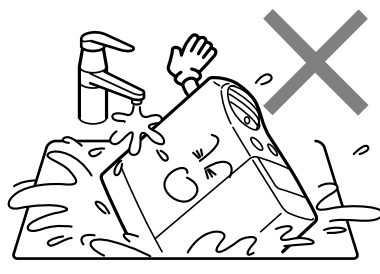
故障の原因。

●本体は両手を使って水平に持ち運ぶ。

傾けたり、転倒すると水がこぼれるおそれ。

●お手入れするとき、気化フィルターを交換するとき、使用後、水槽や本体内部に残った水をすてるときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。

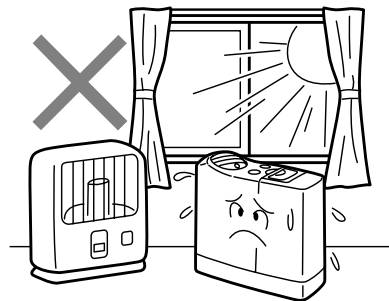
やけどのおそれ。

●本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使用しない。

洗剤から有害ガスが発生し、
健康を害するおそれ。また、
故障の原因。

●丸洗いはしない。

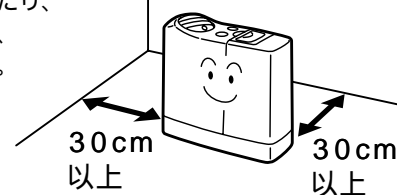
本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください

●直射日光のあたるところや、暖房器具の近くで使用しない。

水タンク内の空気が膨張し、本体から水があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●壁や家具・天井などの近くに置かない。

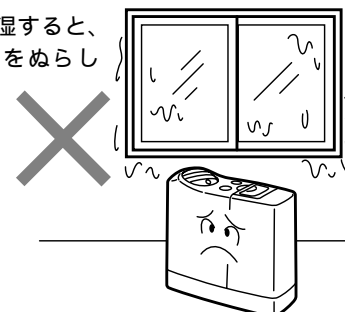
壁・家具・天井やカーテンに
シミがついたり、
カビの発生、
変形の原因。

30cm
以上

30cm
以上

●テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。

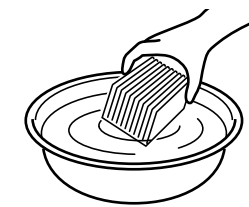
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど
電波障害の原因。

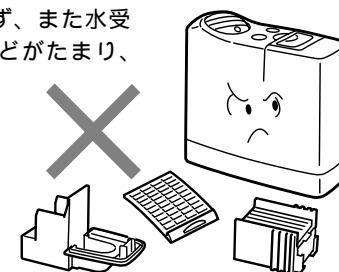
●加湿しすぎない。

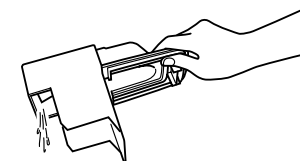
長時間連続で加湿すると、
結露などで室内をぬらし
たり故障の原因。

●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。水受け皿に残った水は毎日すてる。また水受け皿は週2回程度定期的にお手入れする。

汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。
水受け皿で水あかが膜状になって付着し、吹出口より風とともに吹き出すことがあるのでこまめにお手入れをすること。

●気化フィルターはこまめにお手入れする。

本体内部の汚れが取れにくくなり、加湿量の低下やカビ、雑菌の繁殖による悪臭、故障の原因。また汚れや破損がひどくなったときは交換すること。
（お手入れのしかた→P.11・12参照、消耗部品→P.15参照）

●水受け皿、気化フィルターセット、吸気グリルをはずしたまま使用しない。

性能が発揮されず、また水受
け皿に水あかなどがたまり、
故障の原因。

●凍結に注意。

使用しないときは水タンクと水受け皿から水をぬくこと。凍結したまま使用すると故障の原因。

●本体をさかさにしない。

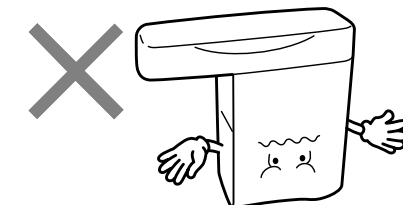
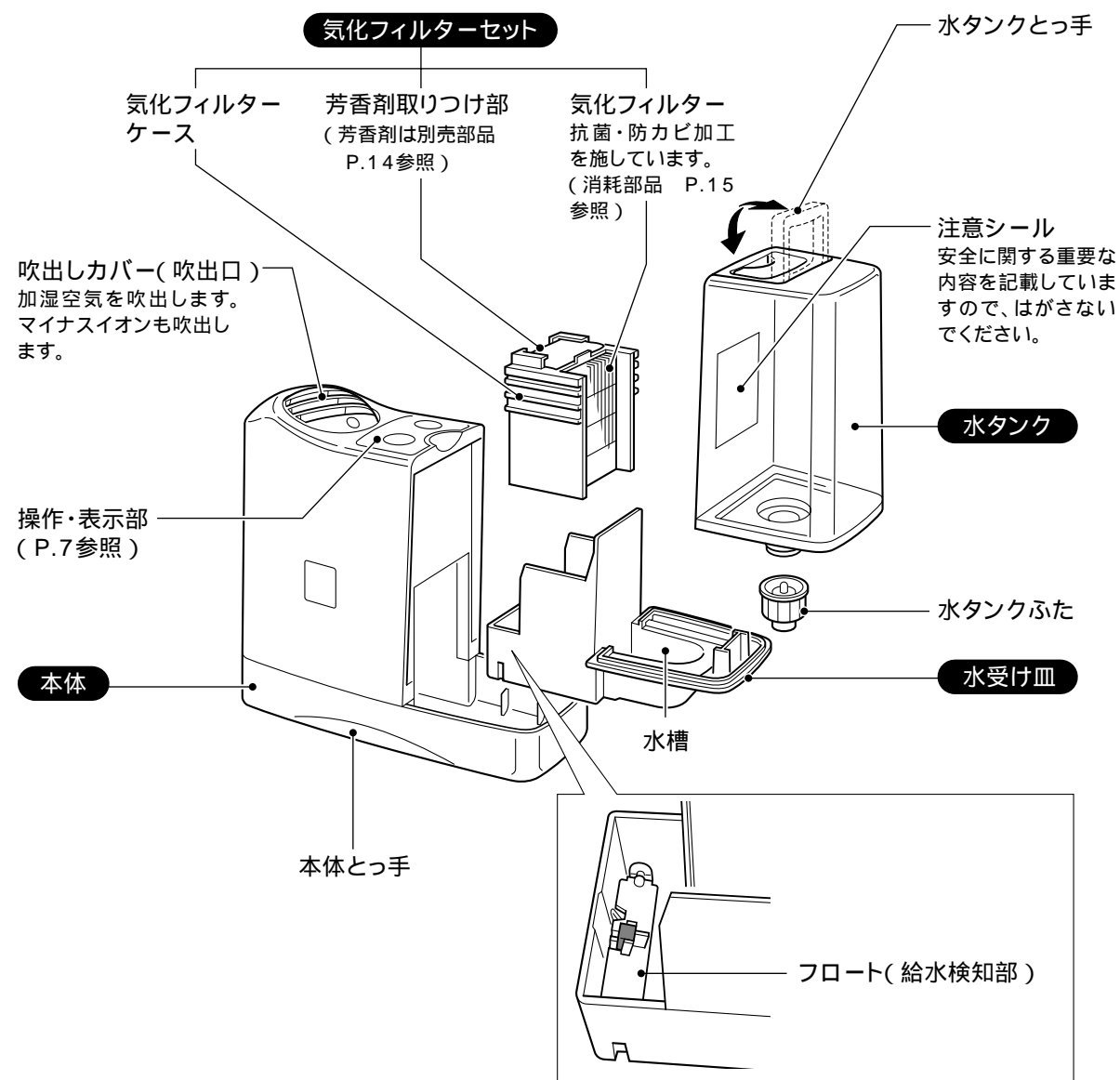
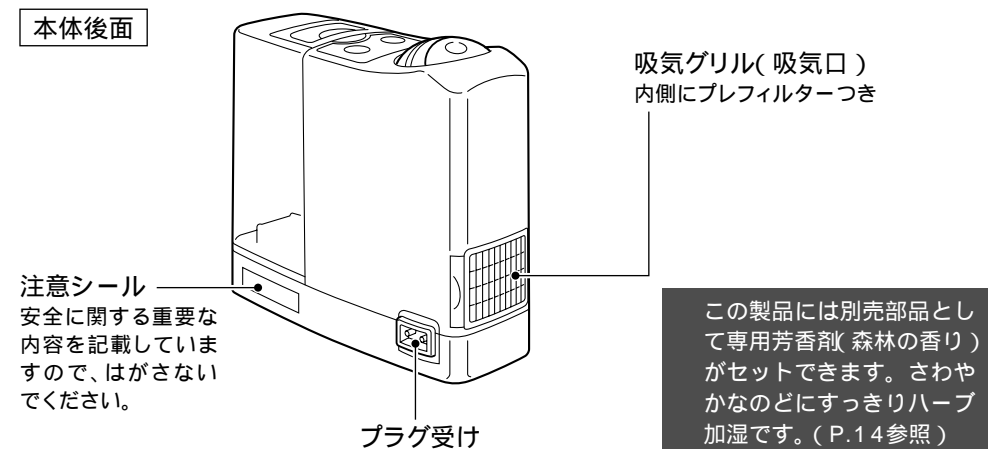
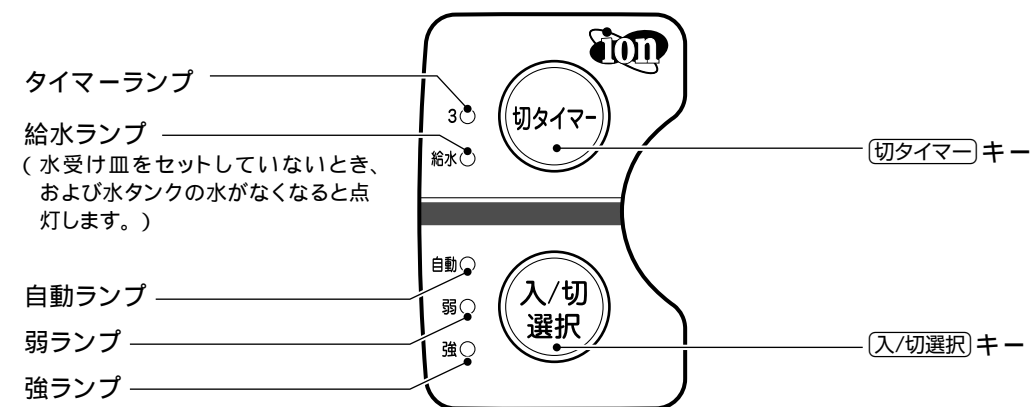
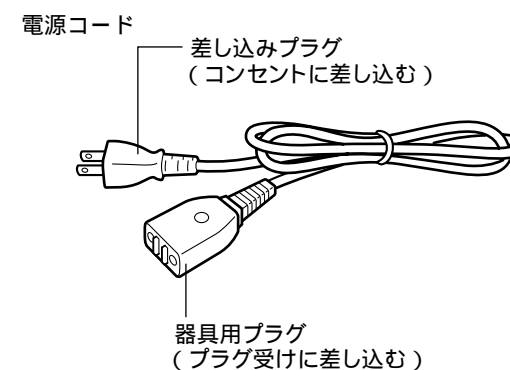
底部が水にぬれていると、底部から水が入り、
故障の原因。

2 各部のなまえとはたらき

※この製品には別売部品として専用芳香剤（森林の香り）がセットできます。さわやかなのどにすっきりハーブ加湿です。（P.14参照）

〈操作・表示部〉

付属品の確認

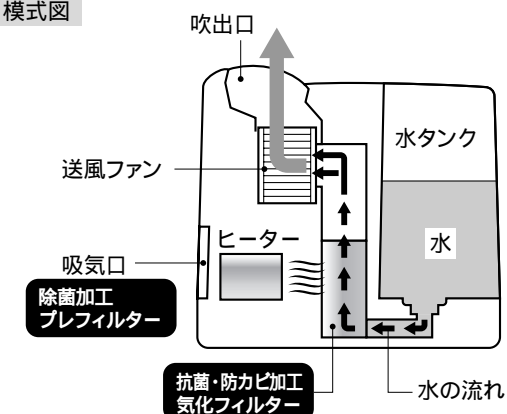
〈電源コード〉

マイナスイオンについて

運転中はマイナスイオンが発生します。

※マイナスイオンの単独運転はできません。

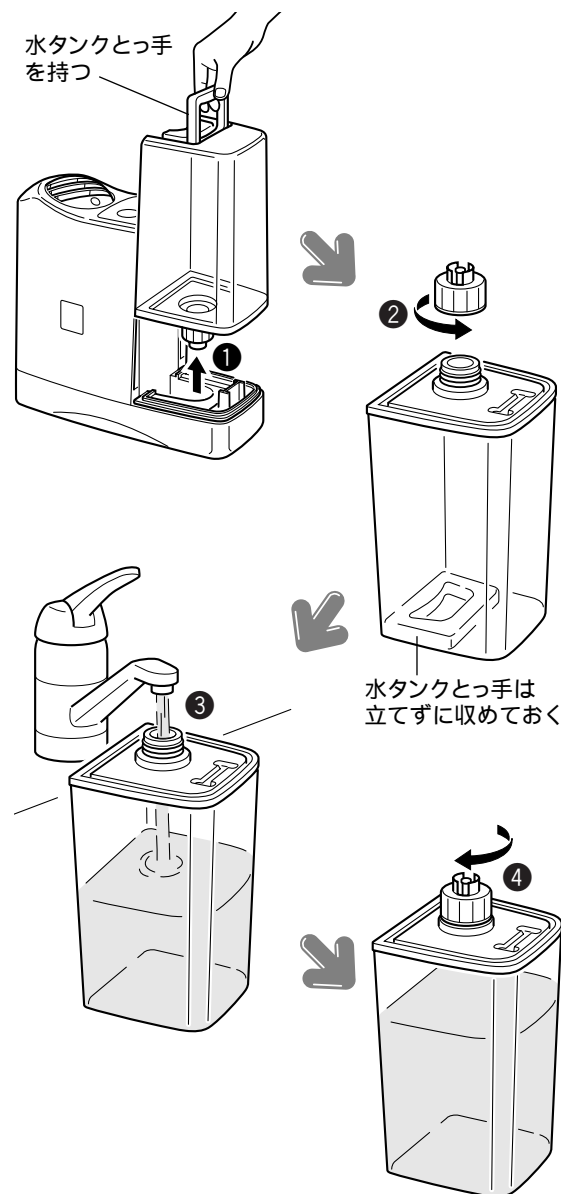
加湿のしくみ（ハイブリッド式）

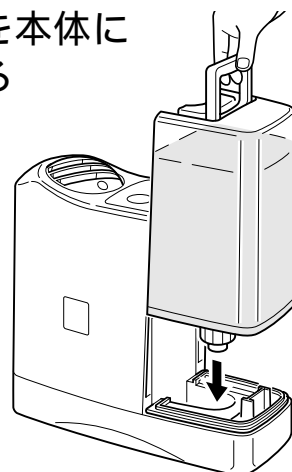
気化フィルターに温められた風をあてて気化させる加湿器です。
水を沸とうさせず、風をフィルターにあてて水を蒸発させるので、万一倒れても熱湯がこぼれず安全です。また、吹出口からの風も熱くありません。

模式図

※気化フィルターに風をあてて湿った空気が吹出口より出ますので、スチーム式や超音波式のような蒸気や霧は見えません。

3 加湿のしかた

1 水タンクを取り出して水道水を入れる

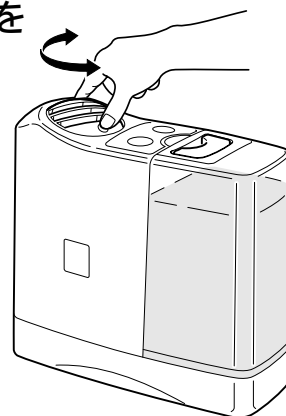
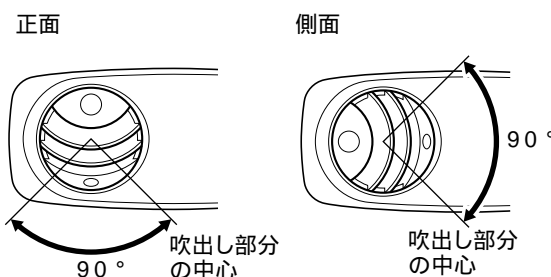
水は、水タンクの半分以上から満水までの間に入れます。

ご注意
- 水タンクふたの開閉や水を入れるときは、水タンクに手をそえてささえながら行ってください。
- 水を入れた後、水タンクふたをしっかりと閉め、水もれがないことを確認してください。

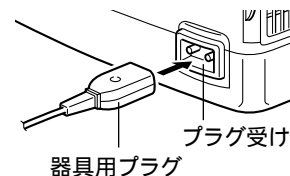
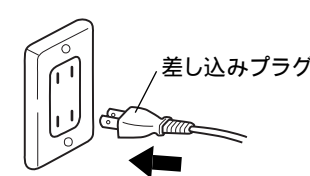
2 水タンクを本体にセットする

ご注意 水受け皿・気化フィルターセットが正しく取りつけられているかを確認してから水タンクを取りつけてください（P.10参照）。正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができない、また故障の原因になります。

3 吹出し方向を調節する

■ 調節範囲

〈正面〉

〈側面〉

4 電源コードを接続する

❶器具用プラグを、本体に差し込みます。

❷差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

ご注意 器具用プラグには、磁石がついています。ピンなどの金属片やゴミが付着していないか確認してから差し込んでください。

5 運転モードを選ぶ

入/切選択 キーを押して選びます。
加湿が開始されます。

※押すごとに「強」「弱」「自動」「切」が切り替わります。（「強」「弱」「自動」の各ランプが点灯。）

運転モード	特長
強	風量「強」で連続で加湿します。
弱	風量「弱」で連続で加湿します。
自動	快適な湿度（約50～60%）を保つために、自動的に風量（「強」「弱」）を調整します。

※連続加湿時間の目安は、P.14の「仕様」を参照。
※蒸気や霧は見えません。
※運転中は、マイナスイオンが発生します。（マイナスイオンは見えません。）
※はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。

ご注意
- 水タンクをセットした直後、入/切選択 キーを押すと給水ランプが点灯することがありますが、しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水ランプが消えます。運転する場合は、再度 入/切選択 キーを押してください。
- 水受け皿をセットしないと、入/切選択 キーを押しても給水ランプが点灯して運転が開始されません。

音 運転中に「カチカチ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

切タイマーのセットのしかた

切タイマーをセットすると、3時間経過後に運転が切れます。
5の項目で運転モードを選んだ後、切タイマー キーを押します。
（タイマーランプが点灯。）

※切タイマーをやめたい場合は、切タイマー キーを再度押してください。（タイマーランプが消灯。）

水タンクの水が少なくなったら…

水タンクの水が少なくなると、給水ランプが点灯し、約1分間冷却のため送風ファンが作動します。その後、運転が自動的に止まります。（給水ランプ以外のランプは消灯。）

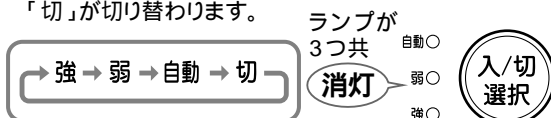
ご注意 続けて使用する場合は、いったん運転を切り、本体が冷めてから水受け皿に残った水をすててください（P.10参照）。その後、水タンクに水道水を補給してお使いください（P.8参照）。

使いかた

4 使い終わったら

●<u>水受け皿をはずすときは、本体内部に水をこぼさないようにご注意ください。</u>
●気化フィルターセットは、必ずはずしてから水をすててください。
●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。水受け皿に残った水は毎日すててください。変色やにおいの原因になります。

1 運転を「切」にする

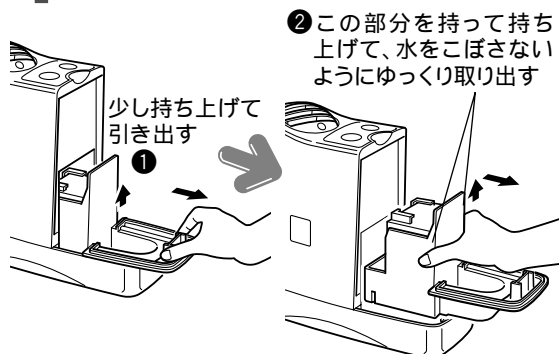
入/切選択 キーを押して、「切」を選びます。
※押すごとに「強」「弱」「自動」「切」が切り替わります。

※約1分間、冷却のため送風ファンが作動します。

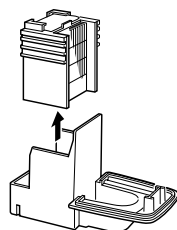
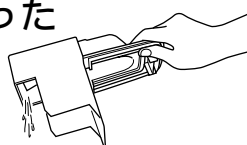
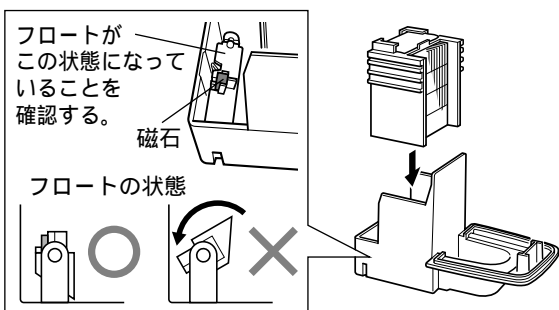
ご注意 プラグをはずして、運転を停止しないでください。

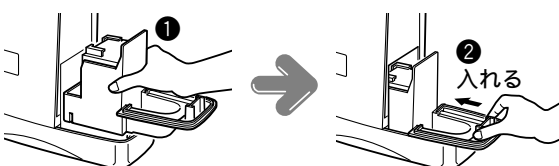
2 電源コードのプラグをはずす

運転を「切」にしてから約1分後、送風ファンが完全に停止してからプラグをはずします。

3 本体が冷めた後、水タンクをはずす（P.8参照）

4 水受け皿をはずす

ご注意 水がこぼれた場合は、すぐにふき取ってください。

5 気化フィルターセットをはずす

6 水受け皿に残った水をすてる

7 気化フィルターセットをつける

ご注意 気化フィルターセットは正しい向きに取りつけてください。

8 水受け皿を本体にセットする

9 水タンクを本体にセットする（P.8参照）

5 お手入れのしかた

⚠注意 運転を「切」にして約1分後、運転が完全に止まってからプラグをはずす。本体が冷めて水受け皿の水をすててからお手入れする。

ご注意
●本体は、水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
●本体の丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。
●洗剤、シンナー、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などは使わないでください。
●お手入れ後は各部品を必ずもとの位置に取りつけてください。正しく取りつけられていないと故障の原因になります。

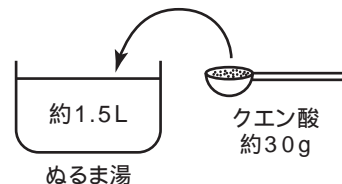
常に清潔に保ち、性能低下、悪臭を防止するためにこまめにお手入れをすることをおすすめします。
水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。水受け皿に残った水は毎日すててください。
また水受け皿は週2回程度定期的にお手入れしてください。
そうしない場合、水受け皿で水あかが膜状になって付着し、吹出口より風とともに吹き出すことがあります。

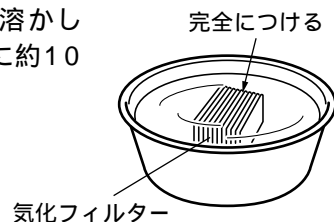
各　部	お手入れのしかた
水受け皿　水タンクふた	**水受け皿は週2回、水タンクふたは月2回程度、ぬるま湯でスポンジを使ってすすぎ洗いをする。** ご注意 水受け皿のフロートがはずれたときは、P.12の要領で正しく取りつけてください。はずれていると運転しません。また正しくついていない場合、水もれの原因になります。
水タンク	**週1～2回程度、水タンクに水を入れてすすぎ洗いをする。**
本体（本体外側、本体内側）	**よくしぼったふきんで汚れをふき取る。** ※本体内側は、週2回程度水受け皿をはずしてからお手入れしてください。
気化フィルターセット（気化フィルターケース、気化フィルター）	週2回程度、水またはぬるま湯の中でふり洗いをして汚れや水あかを落とす。 **気化フィルターは、歯ブラシで汚れた部分をやさしくこする。** **気化フィルターケースはやわらかい布で汚れをふき取る。** **（気化フィルターは消耗部品→P.15参照）** ※水あかが取れにくいときは、クエン酸を使って洗浄してください。（P.12参照） ※気化フィルターの取りはずし・取りつけかたは、P.12参照。 ご注意 気化フィルターの汚れがひどくなると、性能の低下、故障の原因になります。
吸気グリル・プレフィルター（吸気グリル、プレフィルター）	週1回程度、吸気グリルをいっぱいまで引き出して、掃除機の細いノズルで、ほこりを吸い取る。 ※吸気グリルの取りはずし・取りつけかたは、P.15参照。 ご注意 ●吸気グリル・プレフィルターの汚れがひどくなると、性能の低下、故障の原因になります。●吸気グリルを無理に取りはずさないでください。故障の原因になります。●プレフィルターは水洗いしないでください。除菌効果が低下します。

5 お手入れのしかた

気化フィルターについた水あか（茶色や白い固まり）が取れにくいときは…

クエン酸を使って洗浄してください。
※クエン酸は薬局・薬店で市販されていますのでお買い求めください。

●使用量は：ぬるま湯1.5Lあたり、約30g（大さじすりきり3杯程度）です。濃度が高いと部品破損の原因になります。
●使用後は：クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

❶気化フィルターを、気化フィルターケースからはずす。

❷クエン酸を溶かしたぬるま湯に約10時間つける。

❸歯ブラシで気化フィルターの汚れた部分をやさしくこする。

❹新しい水でしっかりすすぎ洗いをする。
※取れにくい場合は、❷からくり返し行ってください。

水あかがこびりついたまま使用すると、性能の低下、故障、破損の原因になりますのでこまめにお手入れしてください。

気化フィルターの取りはずし・取りつけかた

■取りはずしかた

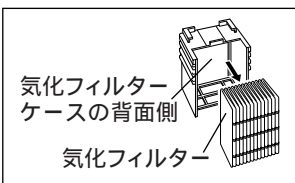
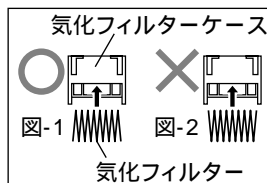
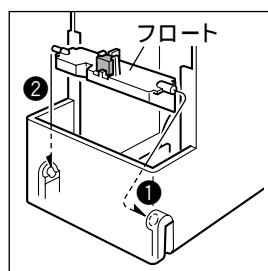
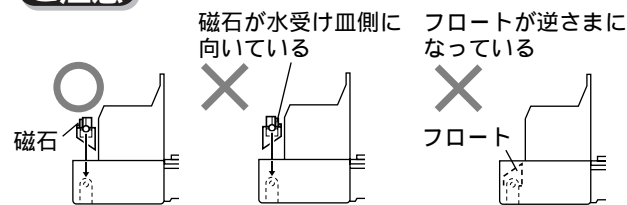
気化フィルターケースの背面側から気化フィルターをかるく押し、手前に引き出してはずす。

■取りつけかた

図-1の方向に取りつける。
※図-2の方向で取りつけると、気化フィルターが折れ曲がることがあります。

フロートの取りつけかた

水受け皿のフロートが万一はずれたときは、軸を図のように取りつける。

長期間ご使用にならないときは…

お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。
（特に気化フィルターセットは充分に）
気化フィルターセットは本体から取りはずしてください。
保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

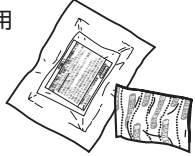
●湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。
●旅行などで数日間使用しないときは、水タンク・水槽・本体内部に残った水をすてておいてください。

6 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

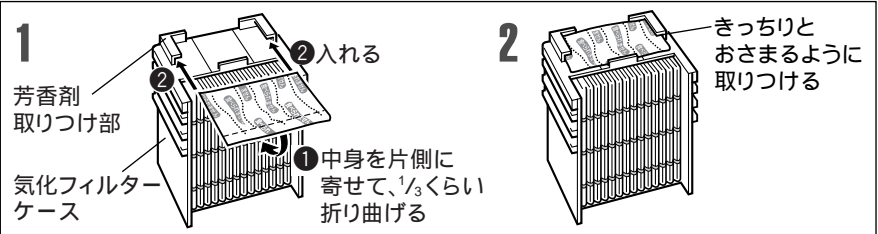
⚠警告　修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
吹出口からの風が冷たい	水を沸とうさせず、風をフィルターにあてて水を蒸発させるので、**吹出口からの風は熱くありません。**		7
蒸気・霧が出ない、見えない	この製品は気化フィルターに風をあてて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。		7・9
電源を「入」にしても加湿しない	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（水タンクに水は入っていますか。）	水タンクに給水しセットしてください。	8・9
	水受け皿を本体からはずしていませんか。	水受け皿を本体にセットしてください。	8〜10
	湿度が高いときに「自動」運転にしていると、湿度調整のため運転しないことがあります。		―
風の出が少ない	吸気グリルのプレフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	プレフィルターのお手入れをしてください。	11・12
	気化フィルターセットに水あかやゴミが付着していませんか。	**気化フィルターセットのお手入れをしてください。**	11・12
	「弱」運転にしていませんか。	「強」運転に比べ風の出が少ない運転です。	9
	「自動」運転にしていませんか	快適な湿度（約50〜60％）を保つために自動的に風量（「強」「弱」）を調整します。	9
水タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	水タンクをセットした直後ではありませんか。	しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水ランプが消えます。	9
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	―
	水受け皿を本体からはずしていませんか。	水受け皿を本体にセットしてください。	8〜10
	水受け皿のフロートがはずれていませんか。またはフロートの向きが正しく取りつけられていますか。	フロートの向きを正しく取りつけてください。	12
湿度が上がらない、または水が減らない	気化フィルターセットに水あかやゴミが付着していませんか。	**気化フィルターセットのお手入れをしてください。**	11・12
	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	14
	換気をしていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	―
においが出る	気化フィルターセット、水受け皿が汚れていませんか。	気化フィルターセット、水受け皿のお手入れをしてください。	11・12
	水タンク、水受け皿の水を放置したままになっていませんか。	水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。また水受け皿に残った水は毎日すててください。	10〜12
マイナスイオンが出ない、見えない	運転していますか。	マイナスイオンは見えません。運転しているときはマイナスイオンが発生しています。	7・9
水もれする	水タンクふたを、しっかり閉めていますか。	水タンクふたを、しっかり閉めて本体に取りつけてください。	8
水受け皿に異物がたまる	気化フィルターセット、水受け皿を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	11・12
	水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	8
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。使用上の品質に支障はありません。		―

仕様

電　源		100V
周波数		50-60Hz
消費電力		強・自動 180W　　弱 10W
加湿能力（約）※1		強 300mL/h　　弱 120mL/h
連続加湿時間〈最長〉（約）※1		強 8時間　　弱 20時間
適用床面積（目安）（使用状況、環境により異なります。）	木造和室	強 7m²（4.5畳）　　弱 2.5m²（1.5畳）
	プレハブ洋室	強 12m²（7.5畳）　　弱 4m²（2.5畳）
マイナスイオン量（約）目安※2		10,000個/cm³
水タンク容量（約）		2.4L
外形寸法（約）幅×奥行×高さ		30.5×12.5×29.5cm
質　量（約）		2.6kg

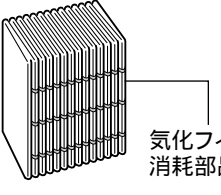
※1 水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100V、湿度30%
※2 マイナスイオン量について
・6畳にて「強」運転時、本体より1m前方、高さ1mでの数値です。
（当社試験室、室温20℃、相対湿度60%にて当社イオン測定器による測定値結果）
・マイナスイオン量は使用環境（室温、湿度、空気の汚れなど）によって異なります。
●「切」状態での消費電力は、約0.4Wです。

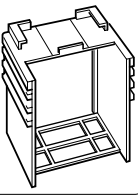
別売部品について

この製品には別売部品として専用芳香剤（森林の香り）がセットできます。芳香剤をセットして運転すると、のどにすっきりなハーブ加湿ができます。
お買い求めになるときは、製品をお買い上げのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15参照）で下記の通りご指定の上お問い合せください。

タイガーハイブリッド式加湿器交換用
芳香剤（森林の香り）
品番：ASL-CO10（3袋入り）

芳香剤1袋あたりの寿命
約15日間（加湿量「強」で1日あたり約6時間毎日使用時）
※寿命は使いかた、環境により異なります。
※廃棄するときは不燃物ゴミとしてすてててください。

芳香剤の取りつけかた

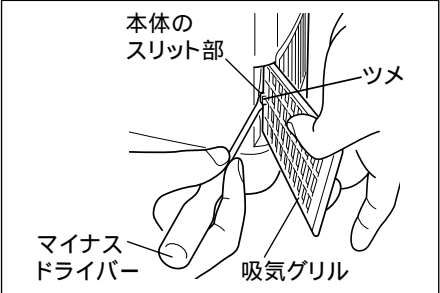
気化フィルターケースの芳香剤取りつけ部に芳香剤を取りつけて、本体にセットしてください。

●芳香剤は使用直前に外袋（アルミ袋）から取り出して、不織布に入ったままでセットしてください。開封後は早めに使用してください。
●芳香剤は食べられません。誤って口に入れないよう、乳幼児の手の届くところには保管しないでください。
●芳香剤は他の用途には、使用しないでください。
●火気や直射日光を避け、高温にならないところで保管してください。
●本体を使用する部屋の大きさにより、香りの伝わり方が異なる事があります。
●芳香剤は体質にあわない場合はご使用をおやめください。
●取りつけ、取りはずしは、必ずプラグを抜き、本体や水受け皿・気化フィルターセットが充分冷めてから行ってください。
●長期間ご使用にならないときは本体から取りはずしておいてください。

消耗部品の取り替えについて

気化フィルターについて

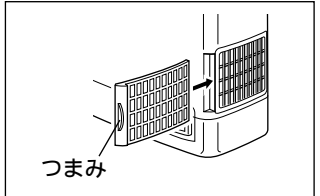
気化フィルターは消耗部品です。お買い求めになるときは、お買い上げの販売店にお問い合せください。

気化フィルター品番：ASO-K10F

気化フィルターは
消耗部品

気化フィルターケースはそのまま使えるので廃棄しないでください。

1日に「強」運転で約6時間毎日使用したとして約6カ月間を目安に交換してください。（寿命は使用状況により異なります。）また、6カ月以内でも汚れや水あかが落ちなくなった場合は気化フィルターケースからはずして交換してください。気化フィルターを廃棄するときは不燃物ゴミとしてすててください。

交換用の気化フィルターは、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で右記の通りご指定の上お問い合せください。

タイガーハイブリッド式加湿器交換用気化フィルター
品番:ASO-K10F

吸気グリルについて

吸気グリルの取り替えなどで、吸気グリルをはずすときは、マイナスドライバーで本体のスリット部を図のように押さえて、吸気グリルのツメをはずしてください。

※取りつけるときは、つまみを手前にして、本体のスリットに差し込んでください。

樹脂成形品について
※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

その他